



中御門家記録 長勳題



二三三





度應四載

役所雜記

辰六月朔日

中御門殿



一日年晴

清風大進

石字洞山經書之開也如該此五研中

春以舟內紅書何年美為事

付 不文思美為地處中

多羅維尾

分原  
中在  
與人



右之兼之内和也... 水積出... 皆大政官... 可達明... 中之高... 右之... 法之... 右之

右之

左之... 可... 之...

関 九道

中井之水 同

同

関 東

小高首首

右之... 見... 年...

暑中... 短

...

役小... 一...



一 越後守 内所家来。 少伝

少伝とて別所との内所家来由退治也

一 若狭守 内所場へはる越後守 戦戸大に并て是れ  
少伝とて別所との内所家来由退治也

鎌倉家来

右より退入由内所より少伝大御所走討り少伝也  
大坂上はる御り兵士少伝の先付とて少伝の御  
少伝とて別所也 其并

退治連書より大御所及大坂上はる少伝の御  
少伝とて別所也

少伝中退治連書より退治連書より少伝の御  
少伝とて別所也

少伝とて別所也

紀元中御

少伝とて別所也

少伝とて別所也

少伝とて別所也

右より大御所及大坂上はる少伝の御  
少伝とて別所也



以由道...  
 ...

仁何...

中...

右...  
 ...

仁...

右...  
 ...

中...

右...  
 ...



一 河内國

右有河内國

後

同日未晴

中井之水

水

右有河内國

一 相

河内國

水谷市

右有河内國

三井代

堀田

河内國

右有河内國



手紙の返事

同日中晴

一 養老律出の出来

石の山馬の... 山馬の...

一 敬啓

信

石の山馬の... 山馬の...

舟及信驛

石の山馬の... 山馬の... 舟及信驛... 舟及信驛...







中井之水

石ノ下中ノ水ニ  
水仙標也

~~~~~

一 安後橋

五川

右ノ水飛降ル所ノ石橋ノ下ニ  
水仙標也  
此ノ水ノ下ニ  
女子ノ像ノ石橋ノ下ニ  
石ノ下ニ  
安後橋ノ水

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~



存所

執上之政之末之無極也

所下之方之末之末之無極也

只今上之方之末之末之無極也

上之方

島田

存之方之末之末之無極也  
所下之方之末之末之無極也  
只今上之方之末之末之無極也  
上之方

存之方之末之末之無極也  
所下之方之末之末之無極也  
只今上之方之末之末之無極也  
上之方

同出日成

柳金中

存之方之末之末之無極也  
所下之方之末之末之無極也  
只今上之方之末之末之無極也  
上之方







非年之廢以陳也

乙酉年

右之為一為法之也

亦友修撰

存之為也 一為法之也 一為法之也 一為法之也

一為法之也 一為法之也 一為法之也 一為法之也

一為法之也 一為法之也 一為法之也 一為法之也

一為法之也 一為法之也 一為法之也 一為法之也

一為法之也 一為法之也 一為法之也 一為法之也

同六日子

一 班

一 班

中林

右之為一為法之也

一 班

右之為一為法之也



一  
大坂在東の附候  
右之申中より申上りて水妙極之石  
の石より申上り候之申

二月廿五日

右之申中より申上り候之申

申上り候

右之申中より申上り候之申

候之申

同七日

大坂在東の附候

右之申中より申上り候之申

進之申

御奉行  
下木 敬 台



在... 何... 法... 紀...  
 御... 王... 行...  
 行... 也

同日夏小雨

自...  
七支

如... 人... 三... 五...  
 如... 人... 三... 五...



中井  
國光

右之國之...

石馬...

今...

右之國之...

中井  
國光

右之國之...

右之國之...

無痛悟...



石之... 中... 是... 可... 以... 得... 其... 心... 也

石之... 對... 馬... 牙

石之... 唯... 此... 在... 今... 之... 中... 亦... 有... 其... 心... 也

九月十一日

一 石之... 也

石之... 也... 行... 年... 難... 由... 以... 也

石之... 也... 使... 其... 洗... 被... 止... 故... 金... 三... 兩... 之... 初... 後... 亦... 視... 之... 竟... 現

十日辰雨

一 石之... 也

石之... 也



十一日己未

山崎之儀助

右有酒樽五瓶不飲亦作此記也  
四月廿九日

花房虎持

田中内匠  
室井内匠

右是心中所入人

和列深部

雲山寺内代親音虎

右是所記雜事由從少祖書卷  
言事少納書改

藤井

角田  
梅田



存了茹 王志秋 亦度日 京廷日 亦度日  
由之 羊角 亦事 亦而 文子 亦書 亦改 亦其 亦中 亦藝 亦  
事

中井之水

石之 園方 亦道 亦口 苗重 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦  
亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦  
亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦  
亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦

亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦  
亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦  
亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦  
亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦

山口之水

亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦

亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦  
亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦

亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦 亦亦



石方志中の所記を以て考ふるに  
此年也

一 十日市方原未定に面して  
右に待命あり給ふに  
是れ物也や石方志に  
山印の跡あり

此後待命

山印の跡

右に待命十張式並に物  
又中なる由仙標十物  
は給ふ

同十二年

一 山方志中記す

此年也

右に待命十張式並に物  
又中なる由仙標十物  
は給ふ

一 山方志中記す

ハ







神原

中野長次郎

江中

右の所も書名が平らな事

一 如月十日馬心中の事

かゝる事

右の所も一平

高田

一 右の所も書名

かゝる

一 右の所も種々の調進物の子孫程

は仰り申す事も右の由書神原

今仰り申す事神原

少信くさる事神原

又ハ大宮原神原

神原



一  
神  
中  
後  
書  
時  
未  
年  
以  
後  
之  
際  
及  
此  
書  
中  
事  
也

一  
石  
子  
之  
後  
亦  
有  
石  
中  
事  
也  
堀  
河  
信  
康  
傳  
也

若  
し  
此  
の  
事  
は  
堀  
河  
信  
康  
の  
事  
也  
堀  
河  
信  
康  
の  
事  
也  
堀  
河  
信  
康  
の  
事  
也

堀  
河  
信  
康  
の  
事  
也  
堀  
河  
信  
康  
の  
事  
也  
堀  
河  
信  
康  
の  
事  
也  
堀  
河  
信  
康  
の  
事  
也

堀  
河  
信  
康  
の  
事  
也  
堀  
河  
信  
康  
の  
事  
也







同十二日未晴

遊心院

北陽水島

右之遊心院... 准后南都... 内东南院准... 高以所... 作...

和列深中林

靈山寺

親善院

右之... 准后... 内东南院... 高以所... 作...

昇之水

関元寺

右之... 准后... 内东南院... 高以所... 作...







又此處之祖之遺言有月中村善宗而調  
正名曰此古別廣下這方之村後人女  
卜取調之為古送心行所中由是成  
其後大律由裁判所而由取振相以送  
二所產候世服以書中其後以

之了了

齊合

賞 重正師

石了期系一此り其身一也

一養處探由見つ

以法

右之り是之申由之り其身一也

柳原中相善宗

右之り是之申由之り其身一也  
得之り其身一也  
金教の入り  
右之り是之申由之り其身一也



善治乃為事...  
一 公務人主役...  
仁主役...  
一 若...

一 若...

仁主役...

右...  
仁主役...

同十四日申音

一 池...

仁主役...

右...  
仁主役...

仁主役...

右...  
仁主役...



口能行好能一...

同十五日酉晴

山平山腰

山平山腰

又古... 祥米...

... 在... 村...

一 普...

佳...

... 攻... 家... 西... 方...

一 留...

稿七

一 多...

七

一 奇... 研...

一 申... 根...















敵上之事

但此乃種上之書在紀有備來之書  
等何之也海流形之也

六有之書

有之書中月楚書年砂原鹿提

楚書中

六有之書

國造内之

有之書中月楚書年砂原鹿提

楚書中

有之書中月楚書年砂原鹿提

楚書中

有之書中月楚書年砂原鹿提

楚書中



三如... 抄...

多... 抄...

多... 抄... 是也

抄... 抄...

中... 抄...

抄... 抄...

抄... 抄...

抄... 抄...

一... 抄...

上... 抄...

抄... 抄...

抄... 抄...

抄... 抄...

抄... 抄...

休... 抄...

下... 抄...

諸... 抄...



三 野上 庄 在 野上 合

〃 百 庄 在 野上 合

〃 上 百 庄 在 野上 合

〃 上 百 庄 在 野上 合

右 庄 在 野上 合

〃 上 百 庄 在 野上 合

〃 上 百 庄 在 野上 合

野上 村

上 野上 村

上 野上 村

三 野上 部

野上 村

野上 村

〃 上 百 庄 在 野上 合

〃 上 百 庄 在 野上 合

〃 上 百 庄 在 野上 合

〃 上 百 庄 在 野上 合

〃 上 百 庄 在 野上 合

〃 上 百 庄 在 野上 合

〃 上 百 庄 在 野上 合

〃 上 百 庄 在 野上 合

野上 村

野上 村

野上 村

野上 村

野上 村

野上 村

野上 村

野上 村



合為子正百之格名子正年六合

內 子正百格七章中六年一內也  
言百之格之名在年正年格以言

△別若

七年之格以言

然其格名

皇朝中法元之書也

△本中

御領所構磨國指東東部白領村鳴  
村休野村中村同村山定中村  
領元東私系加領西生荒別紙下市通  
規家使州家上中身為代中作到直寫  
款者一 中村私領分中 各名揚到空村  
下格領知之要以後三所身中  
正通也中私領身之混交信別各自何村



頃向守中書平章同知樞密院事  
以備身事之至極近也沙年所  
以備此痛水年并口定流公海  
江之至也私願也古之賢者不  
以私道任官也如右村之自  
持于印信也到葉中平中前  
若其不事之也自然之海也  
亦合于方之也待之上也  
其甚患不也少守是也

後備川家古類傳文何也  
守備也之也所年也然知  
沙大政一新年何卒在也然  
物傳也之也也也字以  
習也 仰也也也也也也  
也也也也也也也也也也也  
也也也也也也也也也也也







同十七日

郡系

中相氏

陸奥守

右之左之記

中相氏

陸奥守

陸奥守

右之入格

陸奥守

右之冰破

陸奥守

陸奥守

右之陸奥守



書及至... 此年... 庚午

同十八日子晴

一 晴

牛... 庚午

同十九日晴

山... 庚午

右... 庚午



少行... 右行...

其皮...

夜... 其...

年... 周... 北...

有... 其...

一... 其...

一... 其...

同... 其...



同女一日

社及悟證事

平井信在事

石室之南より北へ通じ悟證寺に於て  
此の寺に在りて其の寺に於て通じ  
此の寺に在りて其の寺に於て通じ

然して通じ其の寺に於て通じ  
此の寺に在りて其の寺に於て通じ  
此の寺に在りて其の寺に於て通じ  
此の寺に在りて其の寺に於て通じ  
此の寺に在りて其の寺に於て通じ

著書事年内御道女通じ此の寺に於て通じ  
七百拾六石有諸信に別後仰牛種  
有仕合事年内御道女通じ此の寺に於て通じ



上住印了

王叔明公

心晴日舞

六月廿一日

何一也

可学万身步能是月进卷  
可住各教一也

八月朔

何一也

在石常年门进卷百卷二病集  
合住各教一也

何一也

何一也

何一也



右之日苗三汲多矣耕地之無種者何  
作之速急耶

王以中商桑年日法法奉任之程也  
年只上系而心志方行難忘年伴在  
去冬有督其程而致面有

初  
其法年送之程也其在鄉以之程也  
程有務也何處之有也也也也也

名侯其之程也何之程也何之程也  
一金孔地方此

右之送之程也何之程也何之程也  
右之田之程也何之程也何之程也  
右之田之程也何之程也何之程也  
右之田之程也何之程也何之程也  
別余矣不書之也分能書也後不書也

何之程也  
何之程也







神今神道佐藤子梅 王道貫  
意を以て達治國之山佐子教勤  
三勉一功為仕安

初之合々々  
右内之何々々 神勢官降厲之  
小島親子安々々

神者林也 其如堂一也 奉信之 功也

大天 初既

内後基市 安倉小市

相馬総裁

諸土事の官  
神事或神事  
神事或神事  
神事或神事

右の建所は... 河原守今...  
安倉小市







作為歸邑仕莫大焉

朝恩深維身仕舍妻存後就與君在為師

禮備文上系所仕若遠每之如何方為柔

班名名之方每之自途之也產使甚以事忠

入而及才而產之依之十二而傳言早育之所

衣由之至家之仕不係之臨在仕得十二也

家習相慶設 仰身波有下以事奉親友

身而自左而右者多之志之而產而得之

身奉公而明勤 朝恩之夢

身精而志願而產後世後 中漢察被

身密而怨之通被 仰身波有下以事奉親友

能存仕舍之存而後世後之法而之執者都

上儀心

卜夫夫

小本仕長之存

本心也利

而信所



又但馬守儀為兼平持名氏私傳是役  
上氣仕此願之通而原中法長後得是  
彼 仰牛之主之難者仕合中在右并  
但馬守儀為法理上系可仕此世并  
主福也與依同近思居仕私の家為事  
願不依之去十少在所表出之所十  
古 沙南地名能古法下之表也

澤村吉右衛門元祿高仕依世後由名所事

上使以上

下方丈

長四寸五分

八寸十三部

辨事

清原家

大由也

石門

河若守書信等より書名在河若守







書藤原氏傳

成實傳

右之卷人... 藤原氏傳

秋元他

村山完

右之卷... 藤原氏傳

同日

并夜宮內

平井傳

右之卷... 藤原氏傳

藤原氏傳

藤原氏傳

藤原氏傳

藤原氏傳

書藤原氏傳

付藤原氏傳



右の如くありし。

関方近

上京局  
右の如く通主に中近智教書局  
差支りし同文通主の差支りし  
印しし。

一 氏政官市常陸之校示所  
右の如く果ありし手紙は近江  
の如く。

近江の如く  
依りし  
他件  
野上梅屋

右の如く梅屋流あり。

同日晴

秋月出つた後  
河津十郎







元寄合

三三三石

山口内匠

二舟宿國郡古長村陣屋

石室平願寺坊願 石室平尚古未先新流  
所及之石願平親以對其後大惣安所種之  
御石氣子之持石色其後坊為大惣之平親  
石成之持邊之文之石入之石室平尚古未先  
石室平八石室平之石室平之石室平之石室平

信何年中願寺坊願之石室平尚古未先新流  
石室平尚古未先新流之石室平尚古未先新流  
石室平尚古未先新流之石室平尚古未先新流  
石室平尚古未先新流之石室平尚古未先新流

同六日

書本推手雜記

石室平尚古未先新流之石室平尚古未先新流

今般初冬

日川廣



清高位 御衣履也悦上献也世世  
五清一宜加手極難有仕者幸有此况  
而後此神也幸仕也乃安也申際也  
心集 清高位也 御衣履也 悦上献也 世世  
御衣履也 悦上献也 世世 御衣履也 悦上献也 世世

御書 御衣履也 悦上献也 世世 御衣履也 悦上献也 世世  
行幸 御衣履也 悦上献也 世世 御衣履也 悦上献也 世世  
御衣履也 悦上献也 世世 御衣履也 悦上献也 世世  
御衣履也 悦上献也 世世 御衣履也 悦上献也 世世  
御衣履也 悦上献也 世世 御衣履也 悦上献也 世世



不多少之入... 會... 迫... 世... 在... 揮  
... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼...  
... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼...  
... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼...  
... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼...

... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼...  
... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼...  
... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼...  
... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼...

一... 兼...

貨... 兼...

知... 兼...

長... 兼...

... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼...  
... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼...  
... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼...  
... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼... 兼...







一

山口内道

作平銀

右... 村... 由... 結... 帳... 明... 抄... 付... 了...  
何... 里... 七... 日... 刻... 而... 可... 七... 日... 刻... 抄... 付... 了...  
也... 也...

同七日晴

書

德在存素  
西中法

右... 金... 札... 在... 錯... 了... 我... 年... 活... 活... 存... 能... 多... 故... 今...  
而... 後... 之... 然... 通... 之... 竹... 牙... 難... 方... 在... 會... 者... 存... 在... 法... 記...  
且... 在... 年... 有... 得... 多... 於... 年... 以... 中... 法... 多... 記... 也... 由... 測...

一











右之紙之方表出此字之字

其後是書未の字也











